

授業科目	介護技術演習					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	秋竹 純						
授業概要	本講義では、介護業務に従事する実務家教員（外部講師）により、介護に関する基礎的知識・技術の解説および実技指導を行う。 ※授業運営上、履修人数の上限を20名とします（20名を超えた場合は選抜を行います）。						
授業形態	対面授業			授業方法	PBL グループワーク		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 基本的な介護技術の知識と技術を習得し、展開する際の注意点を述べることができる。 2. 要介護高齢者とコミュニケーションを行う際に配慮すべき点を述べることができる。 3. 緊急時の対応方法について理解し、必要な手順が説明できる。
理想的レベル	1. 基本的な介護技術の知識と技術を習得した上で実践ができ、他者に説明することができる。 2. 要介護高齢者とコミュニケーションを行う際に配慮すべき点を踏まえ実践することができる。 3. 緊急時の対応方法について理解し、状況に応じて必要となる手続の説明と展開ができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	授業内実技テスト
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	20%	授業への積極的な参加姿勢

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	WE11223J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
各回の授業テーマに沿って、調べ学習を行い事前の情報収集を行う。授業終了後は配布資料を再度熟読し、受講生間で注意点も含めた技術の復習を行うこと。								4	

授業計画

第1回	【テーマ】介護技術を学ぶ意義 受講のルールについて解説した上で、超高齢社会における支援者としての心構えや要介護高齢者の概要について理解する。
第2回	【テーマ】ボディメカニクス ボディメカニクスを活用、腰痛予防を視野に入れた介護技術の展開について解説・実技指導を行う。
第3回	【テーマ】生活環境の整備（ベッドメーキング） 寝具の整え方、ベッドメーキングの方法について解説・実技指導を行う。

第4回	【テーマ】福祉用具・自助具の理解 福祉用具の種類やその用途を理解する。障害に応じた適切な自助具の使用方法や工夫を体験する。
第5回	【テーマ】基本介護の技法(車椅子の介助) 車椅子の操作、介助方法について解説・実技指導を行う。※授業内実技テストの実施
第6回	【テーマ】基本介護の技法（歩行介助） 歩行介助（視覚障害者への介助を含む）について解説・実技指導を行う。
第7回	【テーマ】基本介護の技法（更衣介助） 衣類の着脱、更衣介助について解説・実技指導を行う。
第8回	【テーマ】基本介護の技法（食事介助） 食事の意義について理解する。食事介助の基本解説・実技指導を行う。
第9回	【テーマ】基本介護の技法（口腔ケア） 口腔ケアの意義について理解し、ケア方法について解説・実技指導を行う。
第10回	【テーマ】基本介護の技法（排泄介助） 排泄・睡眠のメカニズムについて解説する。排泄、睡眠のメカニズムについて知識を習得する。
第11回	【テーマ】基本介護の技法（コミュニケーション） 障がいの形態別に応じたコミュニケーションの方法について理解する
第12回	【テーマ】介護予防 介護予防に関する知識や取組について指導・解説する。
第13回	【テーマ】認知症の人への対応 事例を用いながら、認知症の人に対する対応方法について解説・指導する。※ 授業内実技テストの実施
第14回	【テーマ】緊急時の対応 緊急時の対応について解説・実技指導を行う。 ※ 授業内実技テストの実施
第15回	【テーマ】実技チェック これまでに獲得した技術の習得度を確認する実技テストを行う。
テキスト	各授業ごとに資料を配布する
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書：「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版 2025
課題に対するフィードバックの方針	技術習得度テストの結果を授業内で公表する
学生へのメッセージ・コメント	高齢者福祉施設等でのボランティアに積極的に参加したり、認知症や障害を持つ高齢者に関するニュースなどに关心を寄せておいてください。